

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスてら・こや		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 3月 18日		2026年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域をふまえたプログラム立案を意識し、音楽、製作、英語など多岐に渡るプログラムのほか、自立に向けた取り組みも含めて日々の活動を通して支援を行っている	週ごとに違うプログラムを行うため、曜日で固定されてしまうと週に何回かしか通所しない児童はできない活動が出てきてしまうため、毎月ローテーションをすることによって通っている児童がどのプログラムにも参加できるように工夫している	各プログラムを精査し、より専門性の高い療育を行うことができるように意識したプログラム立案を行うとともに、児童が楽しく学び、成長できるようなプログラムを意識していく児童の月齢も様々なため、同じプログラムのなかでも月齢や個々の発達に合わせて分けるなどの工夫を考えていく
2	レクや保護者会、研修会などを通して、保護者同士の交流の機会を設けている	親子で参加できる夏祭りやスポーツレク、保護者、学校の先生等をお招きして練習の成果を披露した文化祭など、親子で楽しめる企画を考えるとともに、講師の方をお招きして行う保護者の研修会や保護者同士の交流会の機会を設けている	親子で参加できるレクなどは企画したが、他の兄弟が参加できる機会がなく、要望もあったため今後は検討していくOB、OGと交流する機会も検討する
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解をもって支援するとともに、職員間で情報共有を密に行っている	連絡帳や送迎時、その日の児童の様子を伝えたり、保護者から話を聞くなどして保護者とも情報共有をしっかりと行い、コミュニケーションを取るよう努め、その日のうちに全職員でミーティングを行い、情報共有をすることで共通理解をもって支援するように意識している	保護者とは、SNSを用いて事業所にいつでも気軽に連絡ができる環境を整えているため、連絡事項等のほかに気になったことなどいつでも情報共有を行えることを今一度告知し、気軽に相談できる環境を更に整備していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応について、保護者にあまり周知されていないこと	掲示を行っているが、保護者への告知が不十分のため、事業所において整備している事柄があまり周知されていないと考えられる	マニュアルの周知が不十分のため、ホームページに掲載するなどして事業所での対応がわかるように整備していく。また、避難訓練をした際には連絡帳にしっかりと記載するとともに、SNSやホームページなどでも周知していくなど、ホームページをしっかりと活用していく
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないこと	地域に児童館がないため、訪れる機会が少なく他のこどもと活動する機会が少ないが、一方で公園などに行った際にはその場にいたこどもと遊んだり、多少の交流をしたりすることもあるが、保護者には日々の細かな交流は伝わりにくく、結果的に交流はないように感じてしまう	表立って交流を望まない保護者もいるため機会を設けることは難しい面もあるが、近所の公園に遊びに行った際には遊んでいるこどもがいれば、一緒に遊んだり、交流する機会もあるため、そうした機会を増やし、様々なこどもと関わる機会を作ることに努め、また交流があった際などは送迎時や連絡帳で適宜伝えるように意識していく
3	職員の人員配置についての周知	日々何人の職員で支援にあたっているかまいち分からないとの意見もあり、新しく入職した職員は送迎時など挨拶に行き、すべての保護者と面識を持つように努めているが、日々の人員配置については周知できていないため分からない保護者もいる	職員の変動があった際には送迎時などにご挨拶をするとともに、おたより等で随時お知らせをしていき、職員についても保護者に知っていただくようし、保護者とコミュニケーションを取りやすい環境を整備し、人員配置もわかりやすく告知していく